

# 第27回 稲門建築会特別功労賞（業績） | 浅野忠利



## 推薦書

浅野忠利氏（早苗会S36）は、竹中工務店の常務取締役として、非採算部門の集合住宅の設計と開発に長年にわたり情熱的に従事してきました。その卓越した業績は、我が国における高級集合住宅の発展に大いに寄与し、彼の熱意と専門知識が建築界に新たな展望をもたらしました。

浅野氏は、竹中工務店在職中にパウハウスの伝統に根ざす当時の西ドイツ、ウルム工芸大学に留学し、モダニズムの研究に没頭しました。その経験は、日本の建築に新しい視点をもたらし、彼の設計にはユニークな要素を取り入れられました。この留学経験は、日本の建築業界において国際的な視野を広げる契機となりました。

竹中工務店退職後、浅野氏は日本にパウハウスの思想を普及すべく「一般社団法人日本パウハウス協会」を立ち上げ、自ら初代理事長として精力的に活動されました。その協会の運営が軌道に乗るや、後進に理事長職を譲り、現在は顧問としてその存在感を示しており、若い建築家・芸術家たちに指導と助言を提供しています。

また、浅野氏はその優れた知識と経験を活かし、2023年9月に「修道院からモダニズムへ・ドイツ手工業職人の精神と系譜」という大著を出版されました。この書籍は、建築とデザインの分野での貴重な知見を提供し、業界全体に新たな洞察をもたらすものと言えます。浅野忠利氏の建築界への顕著な貢献と卓越した業績は、稲門建築会特別功労賞の受賞に値するものであり、彼の情熱と専門知識が日本の建築界に新たな光をもたらすことは明らかです。私たちは誠心誠意、彼を推薦し、稲門建築会特別功労賞を授与することで、彼の卓越した業績と尽力を称えることを強く提案いたします。

推薦人：お茶の水女子大学名誉教授 田中辰明（早苗会S38）

## 略歴

1937年 岡山県玉野市生まれ 1961年早稲田大学理工学部建築学科卒業  
1961年（株）竹中工務店入社/1999年常務取締役/2005年退任  
この間1966年～1968年西ドイツ・ウルム造形大学に留学（1967年助手）  
2021～2023日本パウハウス協会初代理事長

## 作品

1971～1980年 工業化手法による芦屋浜高層住宅プロジェクト  
(3500戸の集合住宅とコミュニティ施設)

## 著書

2023 「修道院からモダニズムへ」



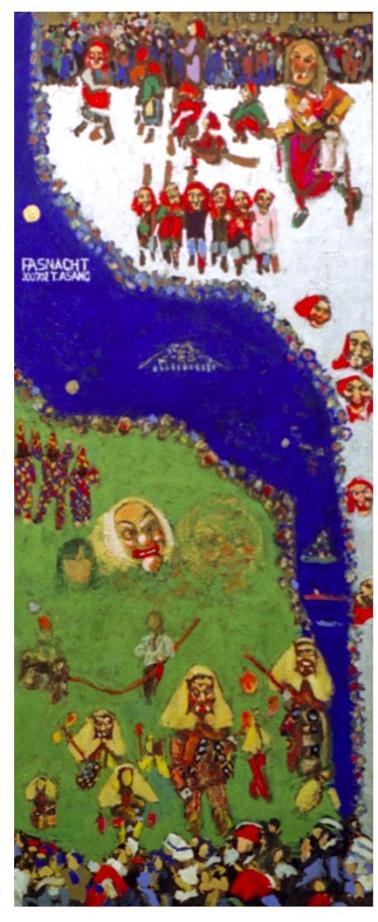
ノアの箱舟2012年制作  
旧約聖書より

モーセの誕生2015年制作  
旧約聖書よりBC14世紀

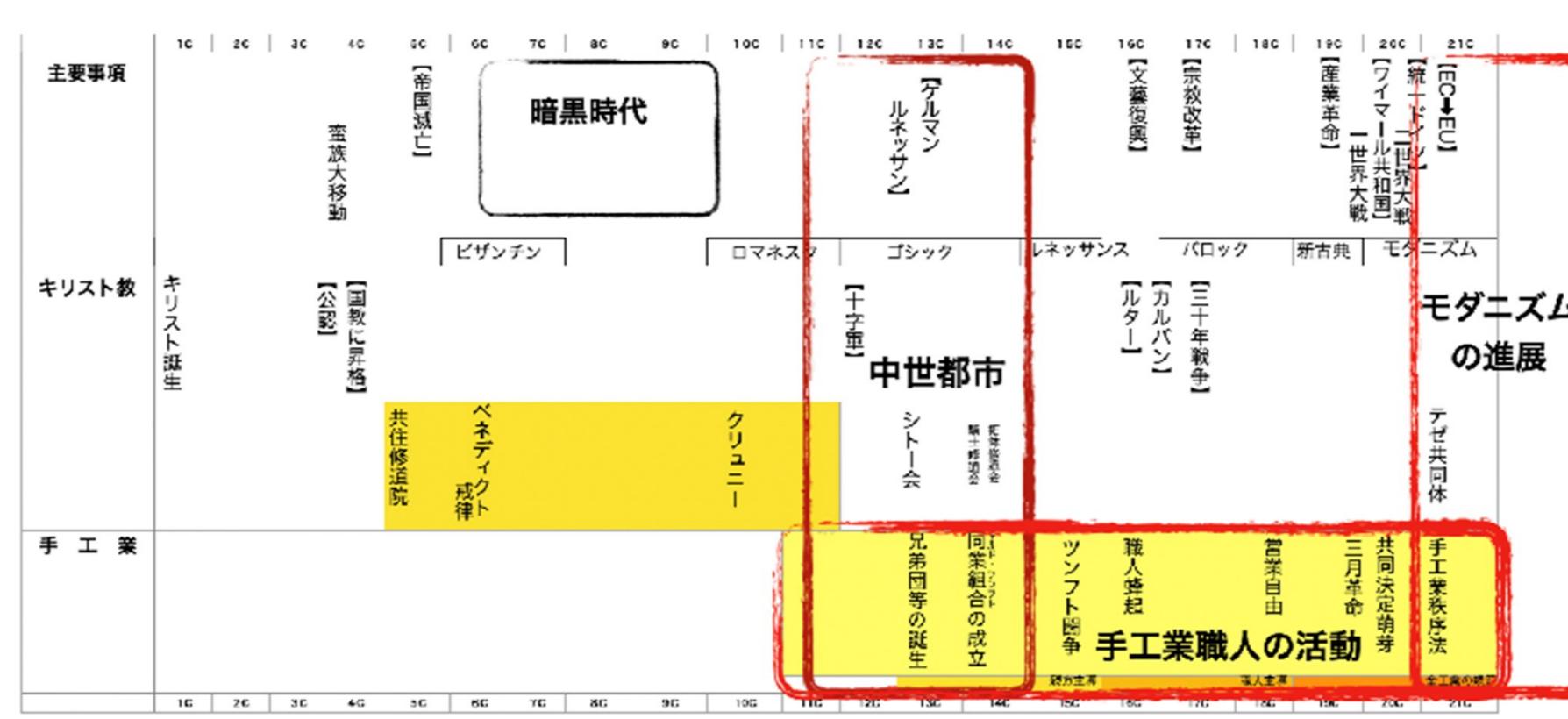
神殿2015年制作  
BC10世紀ソロモン

モンテ・カッシーノ修道院2018年制作  
529年の創建、現存は戦後

マリア・ラーハ修道院2019年制作  
1093年献堂



ゲルマンの祭典  
ファスナハト  
2007年制作



ケルン大聖堂2020年制作  
1248年起工

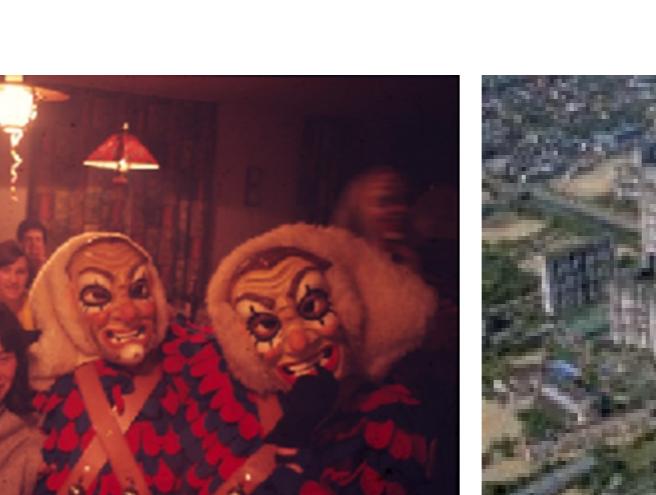
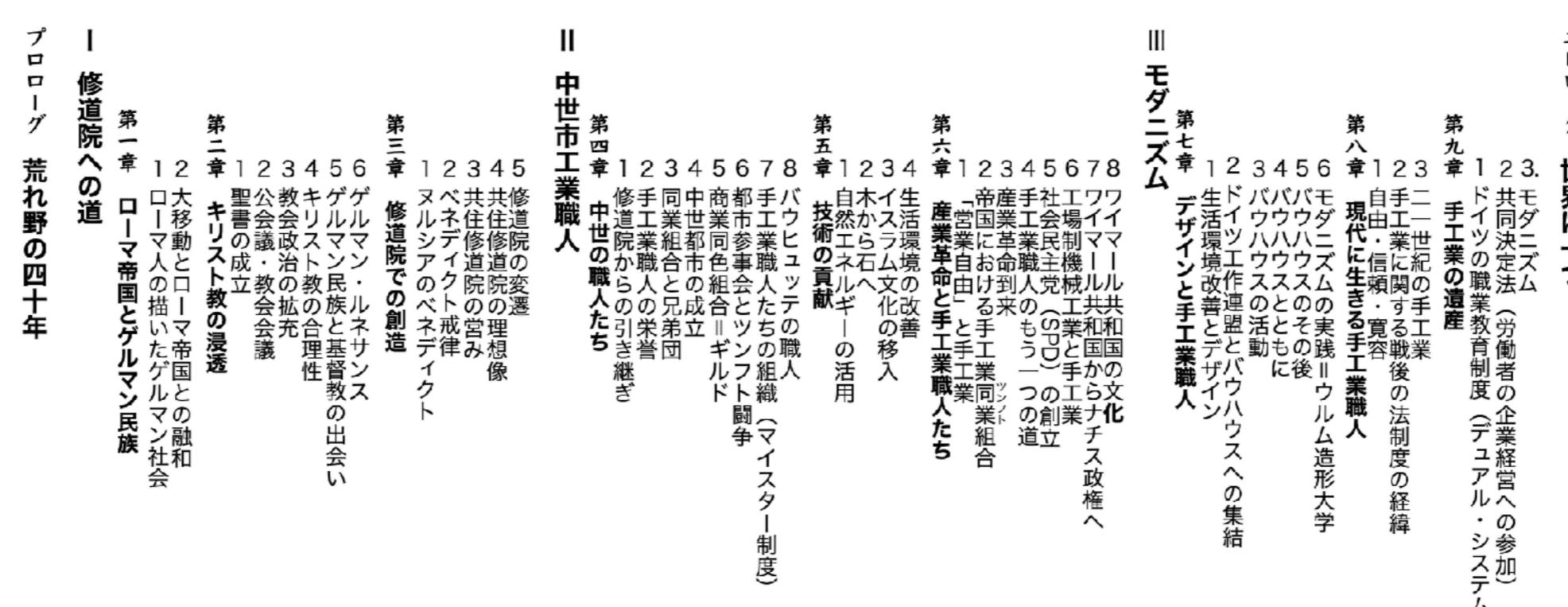
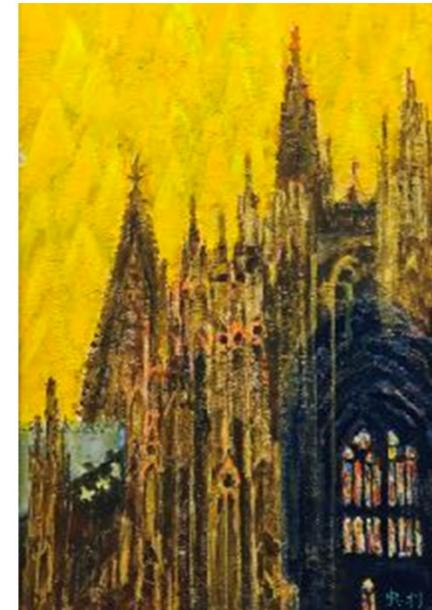
サン・トルバパン 2011年制作  
1262年起工

中世世界地図2014年製作  
ヘレフォード図 1300年頃の製作

中世都市ウルム2011年制作

ギルドの自由 2014年制作  
マスター証書

グランプラスのギルド館 2017年制作  
17世紀の建設が多い



写真説明

A : ウルム造形大学全景 1967年撮影

B, C : ウルム造形大学既婚者用宿舎 1968年撮影

（私達の生活の場 ウルム造形大学は1968年12月に閉鎖となり現在は難民の宿泊施設に転用）

D : スペインのキャンプ場での朝食 愛車フォルクスワーゲン 1967年撮影

（1966年からの2年間のウルム造形大学時代フォルクスワーゲンとキャンプ場で8万キロの西欧の旅）

E : ヴォルハイム一家との懇談 1966年撮影（母を交えての家族付き合）

F : ヴォルハイム一家のクリスマスのご招待 1966年撮影（室内は和服で、クリスマスツリーの前で）

G : ウルム大聖堂を背景にした留学生 1966年撮影

H, I, J : 3000人のラッパ吹きが集合する日 1967年撮影

（ウルムは第二次世界大戦で市街地の9割が破壊され、終戦の翌年からウルムの復興を願って、州のラッパ吹きが集まり、大聖堂で、そして広場で演奏する。2年に一度の催しで、現在も続いている）

K : ウルム造形大学時代のクラシックコンサート 1967年撮影

L : ウルムのクリスマス市 1966年撮影

M : 「工業化手法による芦屋浜構想住宅プロジェクト」の実施案 1980年撮影

（建設省（当時）住宅局主催の設計競技で、3400戸の集合住宅とコミュニティ施設を対象とし、第一位となった提案を実施する条件、工業加工法の普及を図ることを目指した）

N : ポーラー・サークル住宅計画 模型作成・写真撮影も筆者 1968年撮影

（州に住宅都市省の発注、ウルム造形大学工業科建築研究所代表ヘルベルト・オール学長の推奨するプロジェクトに参画）

O, P : 拙書